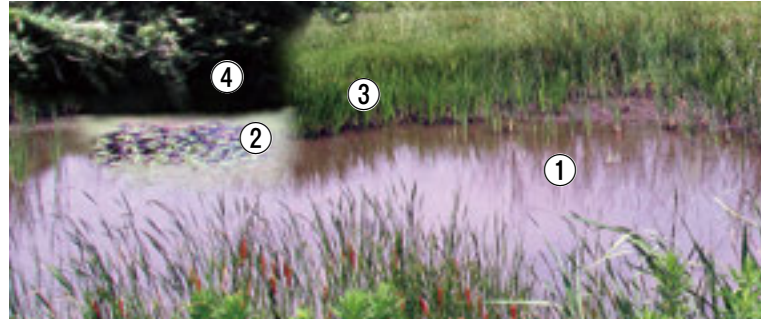


# 水辺を探す ②-2 池沼の水面

池沼の水面を泳ぐアメンボ類は、種ごとに異なった水環境を選好する。



## ① 開放水面

日当たりがよく、浮葉・抽水植物のない水面で、一般的な池沼の中心部分。

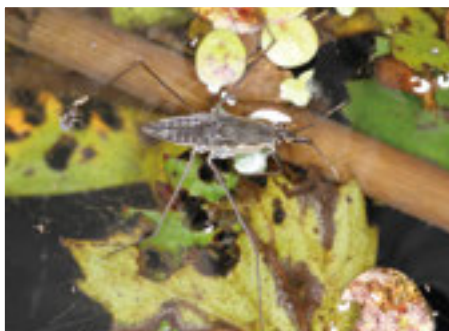


ケラに群がるヒメアメンボの成・幼虫 止水域を好むため、一時的な水たまりや庭の水がめにも見られることがある。ナミアメンボよりだいぶ小型だが、目にする機会が多いせいか混同されやすい

開放水面とオオアメンボ 水面を悠々と泳ぎ、波紋でコミュニケーションをとる

## ② 浮葉植物の繁茂する水面

ここではヒシやジュンサイに覆われた池沼を指す。



ヒシに覆われた水面とハネナシアメンボ 浮葉植物に発生するジュンサイハムシとともに見つかри、恒常的に捕食している可能性がある。このような植物がないと本種の姿を見ることは難しい。通常は無翅型となる



## ③ スゲで覆われた水面

カサスゲなどが水面を覆い、日差しの届きにくい陰になった止水域。



スゲ・ヨシに覆われた暗い水面とエサキアメンボ スゲ群落の茂った暗い水面で活動し、日差しのある開放水面に出ることは(早春、晩秋を除き)ほとんどない。腹部結合板が銀色に輝く美しいアメンボ



## ④ 木陰の暗い水面

木々に囲まれて影ができるような、日差しの少ない水面を指す。



木陰の暗い水面とヤスマツアメンボ 山地に優勢な本種は平野部にも見られるが、開放水面に出ることは少なく、もっぱら木陰の水面に見られる。森林にできた水たまりにいることもある



### アメンボ類以外の水面生活者

アメンボ類以外の水面生活者に目を向けてみよう。ミズカメムシ類は水面を素早く遁走するので、観察はできても捕獲は容易ではない。

ミズカメムシ類 ヒシの浮くような水面に見られ、葉上に比較的多い。体は緑色をしており、見つけにくい。通常は翅を欠く

